

防災・防犯
第2回 「突然の地震」
そのときのために

今回の熊本地震において、6月2日発表の熊本県災害対策本部の住家被害情報によると、全壊が6千959棟、半壊が2万101棟とされ、耐震化の重要性が改めて浮き彫りとなりました。

市では、耐震診断、耐震改修に要する費用の一部を助成する制度を設けています。

住宅の耐震化改修に対する助成について
 ■木造住宅耐震診断費用助成
 ■木造住宅耐震改修費用助成
 ■分譲マンション耐震診断費用助成

耐震シェルターについて
 住宅の地震対策は、耐震補強が効果的ですが、費用の面から耐震改修ができない場合に、家屋が倒壊しても一定の空間を確保することで命を守る装置として、耐震シェルターがあります。耐震シェルターには、一部部屋型とベッド型があり、東京都の「耐震ポータルサイト」において各種紹介がされています。また、同サイトでは、耐震に関するDVDを試聴することもできます。

都市計画課都市計画係
防災安全課防災・消防係
 問い合わせ



▲熊本地震で倒壊した家屋。

環境
第4回
環境ネットワーク
会議「開催と会員
募集のお知らせ

環境ネットワークでは、市内で環境活動を行う企業・教育機関・市民団体など、多様な主体による情報共有や意見交換を行っています。

今回の会議では、今後、ネットワークで行う具体的な取り組みについて、参加者で話し合います。

また、環境ネットワークの会員を募集しています。ネットワークでは、取り組み内容の紹介や意見交換、勉強会などを行います。他団体の活動を知らたい方や、自分たちの活動を知ってもらいたいと考える団体は、ぜひ参加して、市や参加者に活動内容を教えてください。他団体の成功事例を取り入れる絶好のチャンスです。小さな取り組み、ちょっとしたことでも大歓迎です。

対象 環境保全等の活動を推進している市民の方、事業者、教育機関など
応募方法 担当係まで、電話または直接お申し込みください。

「第4回環境ネットワーク会議」の開催について
日時 7月13日(水)午後7時～8時30分
場所 市役所1階 東臨時事務室
申込 事前に、担当係へ電話または直接お申し込みください。
問い合わせ 環境政策課環境政策係

お知らせ
熱中症から
体を守りましょう
緊急一時避難場所を
ご利用ください

市内各商店会のご協力をいただき、市内に猛暑時の一時避難場所を確保します(9月末まで)。店内で涼しく過ごし、体力の消耗を防ぐことができますので、ぜひご利用ください。

ご協力をいただいている店舗には、避難所を示すステッカー(左記参照)、またはのぼり旗があります。他のお客さまの妨げにならないよう、ご利用ください。

問い合わせ 高齢者支援課高齢者支援係



▲このステッカーが目印です。

福祉・高齢
地域介護予防活動支援補助金交付説明会のお知らせ

市では、介護予防に資する自発的な活動が広く実施される地域社会の構築をめざして、介護予防活動を行う団体へ補助金を交付しています。補助金の申請を希望する団体向けに説明会と申請の受付日を設けますので、参加を希望される団体は担当窓口へお申し込みください。

説明会の開催について
日時 8月3日(水)午後1時30分～3時
場所 市役所1階 東臨時事務室
申請の受付について
日時 9月6日(火)
 ※午後1時～3時の間に受け付けます。申込の際に、各グループへ時間をお伝えします。

場所 市役所1階 東臨時事務室
対象となる団体
 ①市内在住、または在勤するおおよね65歳以上の方5人以上で構成されている団体であること。
 ②補助金対象活動を、年度を通じて10回以上行っている、または行う予定であること。
 ③行政、地域包括支援センターと協働することができること。

対象となる活動
 ①運動を通じた健康づくりおよび介護予防に関する活動
 ②正しい栄養の摂取、食生活の改善および口腔機能の向上に関する活動
 ③閉じこもり、うつ、認知症の予防に関する活動
 ④高齢者の生活支援に関する活動
 ⑤その他、健康づくりおよび介護予防に關し、市が適当と認めた活動

補助金交付金額 1団体につき年間3万円を上限として3年間を限度とします。
募集団体数 10グループ(平成28年度新規)
申込 7月7日(木)より、担当係へ電話または直接お申し込みください。
問い合わせ 高齢者支援課地域包括支援センター(市役所内)

健康
「お口のいきいき教室」
受講生募集 **費用無料**

歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士による介護予防のための口腔機能向上プログラムです。これからも、もっとおいしく、食べやすく、楽しく過ごすために、教室へ参加してみませんか!

内容 お口の観察・体操・講話、口腔や栄養の相談など
日時 8月31日、9月7日、14日、21日、28日、10月26日の各水曜日(全6回)

※各回午前10時～11時30分
場所 国立市歯科医師会館2階(富士見台3-16-17)
対象 65歳以上で要介護の認定を受けていない方。
 お申し込み後、チェックリストを実施させていただき、予防が必要と認められた方。
定員 各回15名
申込 7月6日(水)より担当係へ電話または直接お申し込みください。
問い合わせ 高齢者支援課地域包括支援センター(市役所内)

お知らせ
救急医療情報キットを
配布します

自宅で具合が悪くなり、救急車を呼ぶような「もしも…」のときの安全と安心を守る取り組みとして、75歳になる方(平成27年8月1日～28年7月31日現在)および75歳以上の転入世帯を対象に、「救急医療情報キット」を配付します。

「救急医療情報キット」は、玄関内側と冷蔵庫に貼るステッカー2枚と、救急医療情報記入用紙(本人情報、緊急連絡先、医療情報などを記入するもの)が入ったボトルで、個人情報が必要なときのみ第三者(救急隊員など)に確認してもらえます。7月中旬に配送等により配付しますので、届きましたら説明書をよく読んでいただき、救急情報用紙に記入のうえ、所定の場所に保管してお役立てください。

問い合わせ 高齢者支援課高齢者支援係

旧国立駅舎
旧国立駅舎再築物語
第9話
市民の方からの思い出編
(東在住・小梅さん)

市民の方から、旧国立駅舎にまつわるなつかしい思い出についてのお手紙をいただいたので、ご紹介します。(原文ママ)

50年以上前国立高校に通った3年間、赤い三角屋根の駅舎を利用していた。高3の美術の時間、先生が「将来実物に出会う時のために」と国内外の著名な絵画や彫刻・建築のスライドをたくさん見せて解説してくれた。その中に毎日利用する国立駅舎があり、先生は作られた時代を映し、町並みにとけ込んだ駅舎の素晴らしさを語ってくれた。当時は気にも留めず忘れていたのに、15年前、国立に転居して駅舎に再会し、遠い日の先生の言葉を懐かしく思い出した。

あなたの旧国立駅舎の思い出をひと言にして
市報に掲載してみませんか
 旧国立駅舎の思い出を200文字程度でまとめ(様式自由)、掲載する際の作者名としてニックネームやイニシャルなどを記載のうえ、郵送・ファクス・メール等で担当係まで提出してください。選考のうえ、市報で紹介させていただきます。



問い合わせ 国立駅周辺整備課国立駅周辺整備担当
 sec_kuniseibi@city.kunitachi.tokyo.jp